



## ①身を守る ②出口の確保 ③火元の確認

### ◆ 災害時、連絡はどうするのかを決めましょう ◆

音声通話（電話）は本人の声を直接聞けるため安心感もあり、確認もすぐにできます。しかし、熊本地震や他の震災時のようにつながりにくい可能性も十分考えられます。

**NTTドコモ・au・SoftBankなどの携帯キャリアが提供する災害用伝言板、NTTの災害用伝言ダイヤル 171 や災害用伝言板 Web171、無料通信アプリLINE**を使った安否確認などの連絡手段を使って無事を確認しあうことがおすすめです。

また、◆**LINE やメールで家族のグループ**を作って連絡を取り合う

◆**Twitter や Facebook 等**（ただし情報が多すぎて連絡を見逃す事もあるので事前に確認を）など、家族や友人でよく使う連絡ツールを使いましょう。

もしも携帯電話が壊れてしまった場合なども考慮して、周囲の公衆電話の位置の確認も必要です。そのためには、連絡先をメモして財布などに入れておくとう安心です。

また、どの連絡手段の場合も、必ず事前に使い方を確認することが大切です。お正月三が日は各社とも体験利用が可能です。（1月1日 00:00 から1月3日 24:00）緊急時で冷静になることが困難な状態で、慣れていないことをするのは難しいです。LINEなどの連絡ツールは普段から使っておくと、万が一の際にもスムーズに連絡を取ることができるでしょう。

## 災害発生時の家族との連絡方法

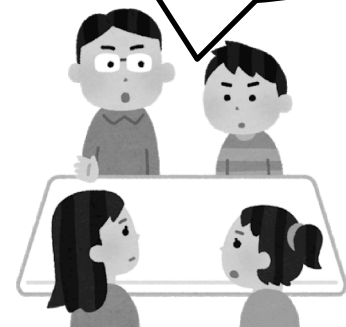
### ◆ 家族が集まるお正月は

#### 話し合うチャンスです◆

家族や友人、みんなそれぞれ仕事や学校など、ライフスタイルも様々です。なかなか時間が合わず、話し合いができない…という場合もあるかと思います。しかし、地震などの災害はいつどこで起こるか分かりません。「あの時ちゃんと決めておけばよかった」となる前に、連絡手段・集合場所を決めておきましょう。1度みんなでお話し合っておくと、万が一の際にもパッと思い浮かび行動できます。また、遠く離れて住む家族にも、もしも大きな災害が起きたらどのような方法で連絡するか・どこに避難する予定か、を前もって伝えておくことで、お互いの安心にも繋がります。

災害伝言ダイヤル

171



自治会館には水・食糧などの備蓄品はありません。家庭での備蓄を心がけましょう。